



Press Release

令和8年2月18日

秋田の「風」が世界を繋ぐ！タイ・モンゴル・シンガポールの海外学生と全国の高専生が集結。再エネ最前線で秋田の未来を描く『KOSEN Global Camp』開催

秋田工業高等専門学校（秋田市、校長：高橋雅之）は、2026年3月1日（日）から7日（土）の7日間、海外3カ国と日本国内各地の高専生約30名が秋田に集結する国際教育キャンプを開催します。本事業は国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）「さくらサイエンスプログラム」の支援を受けて実施されるものです。

一行は、男鹿のなまはげ文化から能代の風車、秋田市のバイオマス施設まで秋田を縦断。3月5日（木）には、言語の壁を越えてチームワークを固める「国際交流・餅つき大会」を実施し、3月6日（金）には「再生可能エネルギーと地域共生」の提言を全編英語で発表します。



本イベントの意義と目的



国際青少年サイエンス交流事業
さくらサイエンスプログラム

1. なぜ「秋田」で「再生可能エネルギー」なのか

秋田県は、国内有数の風力発電導入量を誇る「再エネ先進地」です。しかし、技術の普及だけでなく、いかに地域社会と共生し、持続可能な活性化に繋げるかが重要となっています。本キャンプでは、能代市の大きな風車や秋田市のバイオマス施設を視察するだけでなく、男鹿市の伝統文化（なまはげ）や醸造文化にも触れ、多角的な視点から「秋田のミライ」を英語で提案します。

2. 高専だからこそできる「Level 3」のグローバル教育

国立高専機構では、多国籍チームで専門知識を活用し、協働して課題解決に結びつけられる人材を「Level 3」と定義しています。本キャンプは、座学に留まらず、実験や施設見学等の「実践的視点」を重視しており、技術による課題解決を多国籍チームで検討・提言することで、世界に通用するエンジニアの素地を育成します。

3. 多国籍・全国の高専生が集う「知の交流」の意義

タイ、モンゴル、シンガポールといった異なる文化的背景を持つ学生と、日本全国から集まった高専生が混成チームを組みます。多様な価値観がぶつかり合う中で切磋琢磨する環境こそが、オンキャンパスの国際化を推進し、英語で教育を履修する次世代システムへの一歩となります。

マスコミの皆様が取材するメリット

1. 国際交流・餅つき大会	2. 男鹿・能代フィールドワーク～秋田の「伝統」と「洋上風力の未来」を巡る～	3. 全編英語による最終プレゼンテーション
専門的な議論の合間、秋田高専にて実施。海外学生が慣れない手つきで杵を振り、日本人学生が「よいしょ！」と声をかける姿は、言語の壁を越えた「ワントーム」の象徴です。非言語コミュニケーションを通じて絆を深める、最も活気あふれるシーンです。	男鹿で「なまはげ」に驚く海外学生の素顔や、かつて「木都」として栄えた能代を象徴する国登録有形文化財「旧料亭 金勇」の豪華な木造空間で日本の美に触れるひととき、そして能代の風車を背に、真剣に議論する多国籍チームの姿。秋田が誇る重厚な歴史・文化と、次世代を担う最先端技術が交差するコントラストを映し出します。	初日の戸惑いが嘘のように、自信に満ちた表情で秋田の未来を提言する学生たち。秋田でのワークショップを経た若者たちの成長は、視聴者の胸を打つ人間ドキュメンタリーとなります。

※裏面あり



Press Release

実施概要

イベント名	令和7年度秋田高専 KOSEN Global Camp
実施期間	2026年3月1日(日)～3月7日(土)
実施場所	秋田高専キャンパス内、秋田カレッジプラザ、能代山本広域交流センター
見学施設	風の松原風力発電所、稻とアガベ醸造所、なまはげ伝承館、向浜バイオマス発電施設、JAXA等を予定
参加人数	海外学生(モンゴル、タイ、シンガポール:3カ国)および 国内高専生(秋田、仙台、福島、新居浜)等 合計約30名
支 援	国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)2025年度さくらサイエンスプログラム

KOSEN Global Camp 主要プログラム

日付	内容		場所
3月2日(月)	午前	オリエンテーション等	秋田高専
	午後	日本文化体験	男鹿市(稻とアカベ、なまはげ伝承館)
3月3日(火)	午前	施設見学	向浜バイオマス発電施設
	午後	グループワーク 【※「COMPASS5.0 再生可能エネルギー(風力)教育内容・教材研究会」も同時開催】	秋田高専
3月4日(水)	午前	風力発電の第一人者・本田明弘教授による基調講演	能代山本広域交流センター
	午後	文化体験・施設見学	金勇で昼食、風の松原・JAXA等の施設見学
3月5日(木)	お昼	国際交流・餅つき大会	秋田高専
3月6日(金)	午前	フィールドリサーチ 調査ボードを用いた街頭アンケート	秋田駅周辺 
	午後	秋田の未来を語る「全編英語」プレゼンテーション	秋田カレッジプラザ

※「COMPASS5.0 再生可能エネルギー(風力)教育内容・教材研究会」

国立高専のCOMPASS5.0事業において、秋田高専は再生可能エネルギー(風力)分野の拠点校を担っています。今回、秋田キャンパスにて教材開発の検討会を開催。Society5.0時代をリードする人材育成に向け、教育の高度化を推進します。

なお、施設見学時の現地取材はご遠慮いただいておりますが、運営事務局にて撮影した写真素材等の提供は可能です。ご希望の場合は、下記までお問い合わせください。

問い合わせ先(取材のお申込み等)

秋田工業高等専門学校 学生課学生支援係(担当:福田)

電話: 018-847-6020 / E-mail: kokusai@akita-nct.ac.jp